# B-10 岐阜県菓子工業組合

## おやつをテーマとした舞台で、お客様と出会う場を演出

| | | | |
|---|---|---|---|
| 住　　所 | 〒500-8844　岐阜県岐阜市吉野町3丁目15番地　M's ビル3F | | |
| Instagram | @gifuoyatsu | X | @gifuoyatsu |
| 設　　立 | 昭和42年7月 | 主な業種 | 菓子製造業 |
| 組合員数 | 265人 | 出資金 | 271千円 |



■背景・目的

消費者ニーズが多様化するなか和菓子市場は縮小傾向にあり、組合員の売上も減少する厳しい経営環境となっている。組合員は家族経営の小規模な菓子店が多く、積極的な営業活動は難しい状況にある。そこで、現状を打破して和菓子市場を活性化させるため「岐阜おやつ編集室」を開設。編集室は、組合員商品に関するPR活動を行うことで組合員商品の販路拡大・認知度向上と共に、和菓子を始めとした岐阜のお菓子全体のブランド価値の底上げに取り組むこととした。

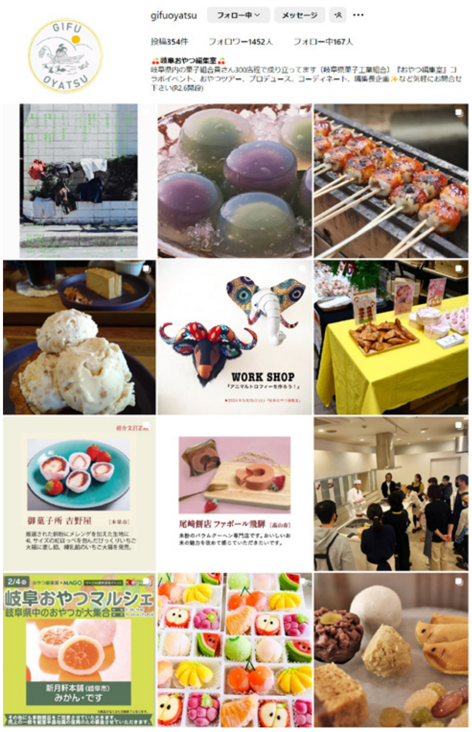
■取組みの手法と内容

「岐阜おやつ編集室」では、組合員商品の認知度向上のためSNSを活用した商品の情報発信を行うと共に、和菓子のおまけ付きのクラフト体験や手作り和菓子のワークショップを開催している。また組合員商品の販路拡大のためJR岐阜駅で年2回の「ぎふのおやつマルシェ」と、ショッピングセンターで不定期の「岐阜おやつマルシェ」を実施した。岐阜県産品ショップでの商品コーナー販売「岐阜おやつ日和」では、組合員の商品を組合プロデュースのオリジナルパッケージで販売するなど、多様な販売方法も提案している。さらに、組合員の店舗を巡るバスツアーを企画・実施することで組合員店舗の来客数アップにも貢献している。また店舗レイアウトのコーディネート、商品の見直し、パッケージデザインの改訂支援、さらには、SNS活用のアドバイスなど、組合員の経営に資する支援を多面的に行っている。

「岐阜おやつ編集室」の活動は、菓子販売に携わった経験がない事務局長が一人で取組みをスタートした。そこには、市場の縮小傾向と組合員の売上低下に対する危機感を抱いた理事長と事務局長の「組合員が心を込めて作る美しい和菓子を、多くの人に知ってほしい」という強い思いがある。その思いが組合員の意識に影響を与え、組合内外にも活動の輪が広がっている。

■成果とその要因

(1) 事務局業務を組合員の事業支援まで拡張したこと。(2) お客様目線で取り組むことを徹底したこと。(3) 成功事例の積み重ねにより和菓子ファンを増やしたこと。これらにより、組合員商品の販路拡大や認知度向上に資する取組みとなった。今後は、岐阜のお菓子全体のブランド価値向上という相乗効果も期待されている。




公式Instagram：
組合員の商品やマルシェ等の活動を情報発信

和菓子手作りワークショップ

**Point**

事務局業務を組合運営から組合員の事業支援まで拡張したこと。お客様視点で取り組むことを徹底したこと。小さな成功事例をつくり共有して賛同者を増やしたこと。